

第2回学校教育基本計画懇話会 会議録

日 時 令和5年10月31日（火）午後6時～午後7時30分

場 所 旭川市教育委員会 4階 会議室

出席者 参加者12名

青木氏，伊東氏，薄井氏，大平氏，岡本氏，小野氏，川邊氏，工藤氏，菅原氏，
西森氏，宮岸氏，目良氏，（50音順）

事務局9名

品田学校教育部長，石原学校教育部次長，眞田学校教育部次長，
末木学校教育部次長，山本学務課長，山下教職員課主幹，田村教育政策課主幹，
朝倉教育政策課主査，道下教育政策課主査

傍聴者 なし

資 料 資料1 第2期旭川市学校教育基本計画（素案）

第2回学校教育基本計画懇話会 次第

1 開 会

2 議 題

- （1）第2期旭川市学校教育基本計画（素案）について
- （2）スケジュールについて
- （3）その他

3 閉 会

会議録（要旨）

1 開 会

2 議 題

（１）第２期旭川市学校教育基本計画（素案）について

- | | |
|-----|---|
| 進行役 | 本日は、議題１の「第２期旭川市学校教育基本計画（素案）について」、参加者の皆さんそれぞれの立場から、御発言をいただきたい。議題１について、事務局からの説明をお願いします。 |
| 事務局 | （資料１について説明） |
| 進行役 | ただいま説明のあった点について、皆さんからの御意見ををお願いします。 |
| 参加者 | 資料１３ページの「新しい時代に対応した教育の推進」について、「情報活用能力等を身に付けさせる」とされているが、情報を正しく読み解く力を身に付けるなど、メディアリテラシー教育の推進を入れていただきたい。昨今、日本全体が報道などに影響を受けることが多く、物事を多面的に捉えることに課題が見られるようになってきていると思うので、ぜひ旭川市でメディアリテラシー教育を積極的に推進してほしい。いじめの問題にしても、様々な媒体でいろいろな情報が出ているが、本当はどうなのか、自分で考えられる大人になってほしいと考えている。 |
| 事務局 | 学校にとってもいじめに関してもメディアリテラシー教育が不十分なことで起こる問題もあるかと思うので、貴重な御意見として、参考にさせていただく。 |
| 参加者 | 力が強くトラブルメーカーになりやすい子どもが、ほかの子どもに少し強く触ったところ、触られた子どもが「痛い、意地悪している」と言ったことがあり、見ているこちらとしてはどちらも悪くないことは分かっているが、帰宅後、親に意地悪されたと話したとしたら、親はそのまま信じるのではないかと思った。大人が間に入ってわざとではないことを伝えると子どもも理解して落ち着きを取り戻すので、いろいろな方面から捉えることについて学校で考える時間が取れるのか、学校でできないのであればそのような活動している人と学校が連携していけたら良いと思う。 |
| 事務局 | 学校でも同じことがいえると思う。学校でいじめの未然防止のためアンケートを行っており、少しでも嫌なことをされたと思ったらいじめに該当してしまうが、子どもを成長させていくという視点についても検討したい。 |
| 参加者 | メディアリテラシー教育の必要性については同意見である。
いじめは、された方が痛みを感じたらいじめであり、された側が、悪気があってやったことではないと理解していればいじめにならないため、いじめ防止という意味でも、いろいろな面があることを教えてあげることも一つと思う。 |
| 参加者 | 大人と一緒に物事の解釈度を上げていくと良い。同じようなトラブルは起こるので、二人だけで考えるのではなく、皆で話をすることで、皆の解釈度が上がってくる。どちらのことも見ようとする子どもが増えていくのでは。 |
| 参加者 | 今年の夏は猛暑だったが、冷房について旭川市はどのような予定なのか。冷房を設置した学校はあるのか。また、夏休みを延長する学校があると聞かすが、夏休みの状況についてもお聞きしたい。 |
| 事務局 | 道立学校については夏休み期間を見直す予定と伺っているが、旭川市は既に、暑さ対策として、夏休み２５日間、冬休み２５日間のところ、令和３年度から夏休みは３０日、冬休み２０日間で運用している。道立学校は夏休み２５日間、冬休み２５日間を変更する予定であるほか、長期休業期間の総日数を増やすことも検討している。旭川市も総日数の見直しを含め検討中である。
暑さ対策については課題であると考えている。感染症対策に係る補助金を活用し、スポットクーラーを購入し設置している学校が多いが、特に上層階が暑くなっ |

まう。また、クーラーを設置するためには電源から見直す必要があるため、整備方法について検討しているところである。

進行役
事務局 保健室にはエアコンが設置されているのではないか。
保健室にエアコンが設置されていない学校は26校あるが、保健室は体調不良の児童生徒が暑さから避難できる場所としても、来年の夏までには設置したいと考えている。

事務局 普通教室は全校で約1,100教室あるが、ほとんどの学校の教室には設置されていないため、数年で全校整備する場合、エアコンの台数や取付業者ほか、長期休業期間にならないと工事が難しい状況もあるが、普通教室には整備していきたいと整備予定を調整しているところである。

参加者 一つの教室にエアコンを設置するには、どれくらいの費用がかかるのか。

事務局 ルームエアコンを設置する場合、今のところの試算では、1教室につき工事費込みで100万円前後かかる見込みである。

事務局 全教室に設置する場合、電気工事が必要になる場合もある。上層階に設置する場合は、足場を組んだり鉄筋を避けながら穴を開けて設置する必要があるため、家庭用と異なり工事ができる業者は限られている。

参加者 道内で、全教室にエアコンを設置している地域はあるのか。

事務局 小規模な自治体、例えば深川市などは、家庭用ルームエアコンを最近整備したところだが、大規模都市では、令和5年度当初の段階でルームエアコンを設置できている自治体はほぼない状態。学校が数校しかない町村では、国の換気対策の補助金を活用し整備している地域もあるかと思う。

参加者 建築に携わっていたので分かるが、小さい家庭用エアコンを教室や職員室に設置する場合、能力的に数台の設置が必要になる。改修工事で設置する規模のエアコンを設置しないと効果はないかと思う。

進行役
参加者 では、換気対策についての意見は以上とする。そのほかについて何か御意見は。
先ほど意見が出ていた情報リテラシーについて、情報活用能力に情報リテラシーも含まれており、決してその部分がないがしろにした計画ではないことは理解しているが、誰にでも分かりやすいように、情報リテラシーについて記載したほうが良いと思う。

また、特別支援教育については、国や道がインクルーシブ教育システムの構築を進める考えであり、取組9の文言は整理したほうが良いと考える。令和4年度、インクルーシブ教育についての国連勧告を受け、全ての教職員が令和10年度までに特別支援教育を経験する方針とするなど、国の大きな流れがある。令和10年度の国連審査までに、通級指導の充実を図り、よりインクルーシブな状況を目指す、つまり特別支援学級を減らすという国の方針となっている。

旭川市は、道内でも特別支援学級の在籍率が高い状況であり、この状況をどのように計画に盛り込んでいくかではないかと思う。特に自閉症・情緒特別支援学級の児童生徒が全国的、全道的にも大幅に増加しているが、旭川市の在籍率は突出しており、果たして適正就学がなされているのかというふうになってくる。情緒学級に在籍している子どもをいかに通常の学級に在籍させ、通級指導教室に通える状況を作っていくのが大事になっていくのではないかと思う。

特別支援に関する指標を、令和10年度までに特別支援教育を経験した教員を100%にする、全ての学校に通級指導教室を設置するなど、より具体的な目標にする必要があるのではないか。通級指導教室は国の基準で教員が配置されるため、全ての学校に教員が配置されるかは別であるが、市としても具体的な適正就学に向け

事務局 た取組を検討していく必要があるかと思う。

事務局 専門的な意見をいただき、御礼申し上げます。旭川市は特別支援学級の児童生徒数が多く、適正就学についても重要な視点であると考えている。特別支援について計画に反映していけるか検討していきたい。

参加者 6ページでは「無線LAN環境を整備済みの学校の割合」が100%に達したため見直す指標となっているが、機能性も考えたほうが良いと思う。全員でタブレット端末を使用すると、ルーターの容量を超えてしまい使用できなくなる状況があるため、整備だけではなく、現場の教育ニーズを調査し、授業の支障がないように通信環境を整備することも必要かと思う。

事務局 また、取組1「基礎・基本を定着し、学びに向かう力を育む教育の推進」では、「自分自身で家庭学習の計画を立てて取り組む」とあるが、子どもたちは勉強の仕方が分からないため自分で計画を立てられないのではないかと思うので、学校で勉強の仕方や自分で計画を立てることについて教えるなど、教育委員会からも提示してはと思う。

事務局 無線LAN環境の整備は100%を達成しているが、1人1台端末を使うことにより、学校によっては回線が不十分で通信が止まってしまうことや、デジタル教科書の導入で更に負荷がかかることは課題であると認識しているため、指標にはないが、通信環境の整備については引き続き取り組んでいきたいと考えている。

事務局 学習指導要領でも、学び方を大切にしているところであり、主体的・対話的で深い学びを通して家庭学習の充実を目指している。

事務局 来年度の本格実施に向けてタブレット端末の持ち帰り試行を実施しているが、家庭での使い方や家庭学習の取り組み方も含め指導し取り組んでいるところである。

進行役 数年前までタブレット端末は学校では全く使用されていなかったと思うが、タブレット端末は全校で一気に使用しても通信は大丈夫なのか。

参加者 全校で使用すると止まってしまうため、タブレット端末を使用する時間を学年ごとにするなど、学校では調整して使用している。授業自体は問題ないが、一斉にタブレット端末を使用する作業を行うと、通信が不安定になる場合がある。どの学校でも同様であると思う。

参加者 取組4「いじめや不登校等への対応の充実」の「ゆっくらす」について、現在どれくらいの子どもが利用しているか、利用した子どもが学校にどれくらい戻っているのか知りたい。

事務局 「ゆっくらす」の在籍者は約50人であり、月、火、木、金曜日に開設している。毎週水曜日は、自分の在籍する学校に登校する日として設定している。

事務局 また、ゆっくらすの利用に当たっては、年度ごとに更新して利用することとなっている。学校に戻った利用者数は今把握していないが、在籍校と連携を図りながら支援しているところである。

参加者 利用する児童生徒は増えているのか。

事務局 今年の状況は、昨年よりも増えている。

参加者 ゆっくらすのカウンセラーの人数は増えているのか。

事務局 指導員は増えていない。年度はじめに指導員の配置人数が確定するが、不登校児童生徒数は年度内に増えていくため、状況を見て対応している。

参加者 どういった人が指導員となっているのか。

事務局 教員免許を所持している方を任用しており、教員経験者が多い。

参加者 ゆっくりに関わりたいと考えている人は、教員免許を持っていなければ関われないのか。

事務局 ゆっくりでは学習指導も行うため、現状では教員免許を所持していない方の任用は難しい。児童生徒に個別に対応しながら、学習指導も行っている。

参加者 指導員でなく、ゆっくりをサポートしたい場合は関わられるのか。

事務局 ボランティアとして依頼したことはあり、そのような形であれば可能かと思う。

参加者 知り合いの子どもがゆっくりに通っていたが、自宅から遠くて通えなくなり、結局学校にも戻れないまま中学校を卒業したことがあるため、ゆっくりに通うための通学支援があれば良いと思う。

事務局 自宅から通いにくいことは課題であるが、通いやすいように、ゆっくりは中心部に設置している。

参加者 ゆっくりを見学したい場合は、問い合わせても良いか。

事務局 見学を希望する場合は、教育指導課まで御連絡いただきたい。

参加者 不登校児童生徒数が増加すると、ゆっくりも増えるのか。

事務局 不登校への対応については課題と考えており、新たな対策等を検討しているところである。

進行役 ゆっくりのほかにも、不登校学級があり、東光中学校、啓北中学校、中央中学校、青雲小学校に設置されている。学校内に不登校の児童生徒が通える教室があり、授業も行っている。

事務局 ゆっくりは在籍校に戻ることを前提として支援しているが、不登校学級は設置されている学校に転校する必要があるという違いがある。在籍校に戻りにくいなど、転校して不登校学級に通う場合がある。

進行役 不登校学級に通うためには転校する必要があるなどハードルはあるが、転校後の中学校の制服はすぐに購入しなくても良いなど、転校しやすいように配慮している。

参加者 不登校学級のある学校では、引け目を感じることなく不登校学級に行けているのか。

参加者 転校して不登校学級に入っても通うことが難しい場合もあるが、環境が変わり頑張ろうとする場合もある。

進行役 そのほかの御意見もお願いする。

参加者 計画全体の目標としては、子どもをどうしていくかであり、学校、家庭、地域で支えて子どもたちをより良い方向に持っていくことと思う。子どもが不登校になった場合などは家庭でも不安になるが、子どもが健全であるためには家庭が健全である必要があり、教員が健全であるためには学校の健全性も支えていかなければならないと考えている。子どもを支えている方、地域や学校への支援も忘れてはならないと思う。計画には「連携」としてまとめているが、具体的にどうしていったらいいのかがあれば良いと思う。

基本施策4「子どもたちの安全対策の充実」の指標にもあるが、「学校安全計画及び危機管理マニュアルの検証・見直しを行っている学校の割合」のマニュアルの見直しも必要だが、大切なことはいざというときに対応できることが重要であり、

参加者	<p>どれくらい危機事態を想定した訓練を行っているか、ということが大切なのではないかと思う。防災に関しては冬季の自然災害の際にどうするかという課題もある。実務的な目標を立てると良いのではと思う。</p>
参加者	<p>取組9「一人一人のニーズに対応した教育の充実」に、幼児教育の小学校との連携について記載されているが、実際には連携は十分ではないかと思う。また、幼稚園以外にも、保育園や幼保連携認定こども園などもあるため、追記すると良いと思う。小学校入学前に幼保の様子を確認するなど連携することはあるが、そのほかに、年1回で良いので、小学校の教員に幼稚園に来てもらい、保育の様子を見てもらうだけで連携になると思うので、管理職以外の一般教員の交流もあれば良いと思う。</p> <p>計画（素案）はおおむね良いと思う。北海道の計画にも沿っていると思った。旭川はいじめの問題で注目されており、そのことを念頭に計画も改訂してほしいと思う。</p>
参加者	<p>保護者としては、学力育成プランの学校・地域・家庭の3本柱が十分ではないと感じており、地域と保護者がもっと声をあげていく必要があると考えている。地域の人材や支援方法についてももっと情報発信してもらうことで、子どもたちに向けた協力ができることもあると思う。</p> <p>ほかの参加者からも意見があったが、計画では、不登校について、福祉や医療などの連携を図りながら支援すると触れられていることは良いことであるが、不登校の子どもがいる家庭では、朝早く出勤するため子どもに登校を促すことが難しいケースがあり、学校が声をかけることもあるなど、家庭へのサポートは大切であるため、表現についても工夫してほしいと思う。</p>
進行役	<p>また、働き方改革はICTを活用するなど取り組んでいるが、学校としても「やり尽くしている」という思い込みからの脱却は必要と思うが、ボランティアで少年団活動をしている場合など、なかなか時間が取れない場合もあるので、表現について検討してほしい。</p> <p>幅広い視点からの御意見をいただいた。</p>

(2) スケジュールについて

進行役	<p>その他について、事務局で何かあるか。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて御説明させていただく。</p> <p>本日、皆様からいただいた御意見なども参考に改定案を作成し、12月から来年1月上旬頃までパブリックコメントを行う予定であり、パブリックコメントでの意見等も踏まえ最終的な改定案をまとめた後、第3回の懇話会は1月下旬から2月中旬頃に開催したい。皆様の御意見を頂きながら、年度内に最終的な計画を策定し、令和6年度から新たな計画に基づき取組を進めていきたいと考えている。</p> <p>第3回懇話会の日程は、後日調整させていただく。</p>

(3) その他

進行役	<p>そのほか、皆様から御質問、御意見があれば発言いただきたい。 (質問等なし)</p>
-----	--

6 閉会

進行役	<p>以上で、第2回学校教育基本計画懇話会を閉会する。</p>
-----	---------------------------------